

【 第15回ジュニアアジア選手権 】

2016年7月22日～8月1日

開催国:ヨルダン

試合結果報告

7 月 29 日 (金)

JAPAN	VS	IRAN
16	前半	10
14	後半	20
	第一延長	
	第二延長	
30	合計	30

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	袈屋 竜流			0
2	藤村 勇希	2		2
3	園田 涼太			0
4	康本 侃司			0
5	田里 亮稀	4	2	6
6	小澤 基	1	3	4
7	伊舎堂 博武	4	2	6
8	原田 竜汰		2	2
9	大谷 由岐也			0
10	三重 樹弥	2	3	5
11	安平 拓馬			0
12	羽諸 大雅			0
13	牧野 イサム	3	2	5
14	北詰 明未			0
15	山田 信也			0
16	前原 大輝			0
17	川上 勝太			0
18	中田 凌河			0
				0
	合計	16	14	30

試合結果

戦評

ジュニアアジア選手権のメインラウンド第三戦の相手はイラン。スターティングメンバーは、LW小澤、LB牧野、CB田里、RB伊舎堂、RW三重、P山田の布陣で日本のスローオフから始まった。日本は伊舎堂の7mtで先制するが、イランの長身エースNo.14にステップシュートを決められ、すぐさま同点に追いつかれる。中盤に入り、日本は機動力を生かしたDFが機能し始め、イランのミス速攻につなぎ、5連取する。その後もGK羽諸を中心によく守り、前半を16対10の6点差で終えた。日本は前半終了間際に2人退場してしまい、後半はCP4人でのスタートとなったが、その時間帯をなんとか1失点でしのぐ。その後、イランは体格を生かし、日本のDF陣に接触されながらもNo.14、No.20が力強いミドルシュートをうちこみ、徐々に点差を詰めてくる。残り10分、24対21となったところで、イランはダブルマンツォを仕掛け、日本にプレッシャーをかけてくる。日本は伊舎堂、三重でなんとか得点するが、さらにイランはトリプルマンツォを仕掛ける。終盤、日本は焦りからミスを連続し、ついに同点に追いつかれる。イランは残り30秒を切ったところでタイムアウトを請求し、7人攻撃を仕掛けるが、日本は最後の力を振り絞って守りきり、30対30の同点で試合を終えた。この結果、日本は1勝1分でグループ2位が決まり、準決勝進出を果たした。

報告記入者 :

寺脇 将